

和地ひとみレポート No.118

やっと着手！！

武蔵大和駅前の都道の工事が5月下旬よりスタート

■東大和市の玄関口の一つである武蔵大和駅

…東大和市の北側の玄関口とも言える『武蔵大和駅』。この駅はエレベーターが設備されるなど改善もありましたが、駅前の道路拡幅工事は工事用の柵が張り巡らされたまま、先に進まない状況が長く続いていました。和地ひとみも、市民の方から「いつになったら、工事は始まるのか」というお問い合わせを数件受けています。…『武蔵大和駅』は駅としては小規模かもしれませんが、通勤通学時間帯には多くの方が利用しています。また、駅前にはロータリーなどもないため、バスを待つ方、道路を横断する方、自転車の方、そして徒歩の方などが、お互いを避けながら通行する様子、また、工事の柵があるため、見通しが悪く、雨の日などは傘もあるため往来しづらい状況です。…それに加え、工事の柵の中にはゴミが捨てられている状況もあり、景観としてはもちろん、多摩湖を散策するために訪れた方が最初に目にする光景という「町の第一印象」という点においても、早期の改善が必要な状況です。

■東京都からやっと工事開始の連絡が

…駅前の工事の柵には『東京都北多摩北部建設事務所』が設置した、今後の工事予定が示された大きな看板があります。しかし、最初に設置された際に示された工事スケジュールは、東京都が請負業者を決定するために行った入札が不調（入札で応札者がいないため落札者が決まらないこと）に終わったため、延期されていました。その後、工事スケジュールの延期について看板は書き直されましたが、それについても「入札の結果によっては変更もある」旨が書かれていました。…しかし、先日、東京都より本年5月下旬から平成27年1月下旬までの予定で工事を開始する旨の連絡が東大和市に入りました。工事については工区を2つに分け実施される予定です。どのように工事が進められるかの詳細はわかりませんが、通常でも通行にストレスを感じる狭い歩道であるとともに、通勤通学時間帯には車の渋滞

も発生する駅前道路ですので、安全に充分配慮したうえで、少しでも早い工事完成を目指して欲しいところです。



■東大和市も他人事ではない？

…皆様も新聞などでご存知のとおり、東日本大震災を代表とする災害被害の復興工事、東京オリンピック招致の決定などの大きな要因、また、中央高速道路のトンネル事故などに代表される橋りょう、トンネルなどの老朽化、耐震化を行う必要などもあり、現在、建設関係の事業は人手不足、建設資材の高騰（これは為替の関係もありますが）などで、依頼する側の予定通りに進まない状況が日本全国で多発しています。多くの自治体が計画している建設事業については、入札を実施しても不調に終わることが多い状況です。

…和地ひとみが議会などでも取り上げ、注視している東大和市の大事業「学校給食センター」の建設は、通常の場合であっても当初予算は破格に高額だと思っていますが、このような市況であることを鑑みると、最悪、当初予算でも入札が不調に終わる状況になりかねないのではないかと考えています。

…子どもたちのためにも、安心安全で食育も兼ねた給食を提供できる環境を整えることは1日でも早く実現化して欲しいという強い思いを持つ一方で、20億円以上の事業を実施するタイミングを間違えたら、予算を大幅に超える金額になってしまうということばかりではなく、工期の遅れなどのトラブルが発生する可能性は高いのではないかと予想します。本当の意味で、市民のためになる、価値のある事業にするために、市は様々なことにアンテナを張り、先手、先手で事業について検討していく必要があると痛感しています。

…今回の武蔵大和駅前の工事着手決定は何よりですが、これを東京都の問題と捉えるだけではなく、東大和市が計画している大きな建設事業にも照らし合わせていくべきです。

※東京都からの工事案内より

◇工事件名：道路改修工事(25 北北一廻田)その2

◇工事場所：東村山市廻田町3丁目から東大和市清水1丁目 都道128号線（工事箇所は裏面の地図）

◇工事期間：平成26年5月下旬～平成27年1月下旬の予定

◇施工時間：昼間：午前8時～午後5時 夜間：午後9時～午前6時

◇施工者：(林建設株式会社) Tel:042-486-1115（現場代理人）中村直人 080-4103-0546※黄色い腕章着用

◇担当工区：東京都北多摩北部建設事務所 東村山工区 Tel:042-393-4111

武蔵大和駅前の都道工事場所図



和地ひとみより市民の皆さまへ、大切なお知らせです。

このたび、4月30日付で和地ひとみは、東大和市議会の会派『民主党』を離脱しました。理由は、会派の代表者と活動方針が合わず、互いの意見を出し合い、何度も話し合いを持ちましたが折り合いがつかなかったためです。

私には、市議会議員に挑戦しようと決めた際、言い換えれば「議員」という立場になる前に考えた『市議会議員としてあるべき姿』があります。そして、それを日々の活動で実行していこうと心に決めています。

できる限り市民の皆さまと直接顔を合わせる場をつくること、日常の中で多くの声を聞くこと、市議会に送っていただいた市民の皆さまに市政の状況やそれに対する自身の考えをタイムリーに発信していくこと、また、市政に市民感覚で感じたことを提言し、時代に合った新しい感覚を伝え、提案していくこと・・・

これらの私の活動を存分に実行していくことが、市民の皆さまに対する責任だと考えていますが、会派に所属することでその実行が困難な状況になりました。

新人議員の私は、会派の方々や民主党に色々と指導いただいた部分もあるため、そのことを考えると、今回の決断に至るまでには多くの時間が必要でした。

しかし東大和市議会議員の私は、東大和市民のために全力で活動することが第一義であり、それを実行してこそ、市民の皆さまとまっすぐ向き合えるのだと考えました。

民主党公認の議員は同一会派内で活動することがルールですので、市議会の会派を離脱したことに伴い、無所属となります。

党という後ろ盾がなくなることを心配してくださる方もいらっしゃると思います。一方、民主党だから応援しているという方もいらっしゃると思います。

しかし、自身の活動を制限することは信念を曲げること・・・

また、ある意味1からのスタートになると思いますが、今まで以上に尽力する所存です。

今後とも、よろしくお願い申し上げます。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート

「身近なようで知らなかった市政、議会。伝えることがスタートだと思います。」

【プロフィール】

1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山奥の小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。『「学校」の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。その後、人材開発部長を拝命。『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後もベンチャー企業を選び不動産投資会社に勤務。同じビジネス界出身の加藤公一代議士との出会いに触発され、政治への道を志して2010年末に退社。現在、新人東大和市議会議員として、日々、奮闘中。



東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>

✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546

〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102